

マーク概要
対=対象(特記ない場合、どなたでも)
日=日時・日程
会=会場
講=講師
費=費用(特記ない場合、無料)
他=ほかの情報(「保育可」は生後5か月以上で首がすわっている子〜未就学児が対象)
申=申込方法(特記ない場合、発行日時時点で申込可)
問=問合せ先
区HPQ:00000=区のホームページの検索メニュー
ページIDから探すへ
番号入力でページを表示
=要件を満たすとせたがやPayのポイントがもらえます



区の手続きや施設・イベント案内は せたがやコール(午前8時~午後9時 年中無休)
☎03-5432-3333 FAX03-5432-3100 ●問合せフォーム 区HPQ: 8436

# 在宅避難に必要な備え

## 自宅に被害がなければ、自宅で生活を続けよう

避難所に行くことだけが避難ではありません。住み慣れた環境で家族やペットと過ごせる在宅避難がおすすめです。ただし、自宅にとどまることに少しでも危険を感じたら、ためらわずに他の場所に避難しましょう。

災害対策課 ☎5432-2262 FAX5432-3014

### 3日以上以上の備蓄をしよう

被災してまず必要になるのは、食料・水・トイレ・電源です。一人最低3日分、できれば1週間分の備蓄を用意しましょう。

#### 食料

常温で長期間保存できるもの以外にも、食べた分・使った分を補充する「ローリングストック」で日常備蓄を。



#### 水

一人一日3リットルが目安
汲み置きした水道水もOK
清潔でフタのできる容器に口元までいっぱいに入れ、直射日光を避けて保存すれば、3日ほどもちます。



#### トイレ

一人一日5回目安で準備
水が流せても、排水管が壊れていると下水が逆流してしまいます。排水管の状況が分かるまで携帯トイレを使用しましょう。マンションは特に注意!



#### 電源

ポータブル蓄電池やモバイルバッテリーで停電の備えを。



#### おうちの安全対策を忘れずに



#### ご家庭にあった備蓄と点検を

常備薬や離乳食、ペット用品なども家族にあわせて備蓄。定期的な点検で期限切れを防止しましょう。



### マンションでの在宅避難を考えよう

耐震性や耐火性が高いマンションは、在宅避難におすすめです!

## マンション防災共助促進事業(2次募集)実施予定!(9月18日午前9時から受付開始)

希望する区内のマンションに最大3点・合計30万円相当の防災備品を無償で配布します。申込条件・方法等詳しくは、区HPをご覧ください。
※3階建て以上かつ6戸以上のマンションが対象です。6月に実施した募集で配布が決定したマンションは申し込みできません。
※先着順ではなく、配布予定棟数1000棟を超える申込があった場合は抽選となります。

区HPQ: 27257



### 冊子「今日からできる! マンション防災 一備えて安心 在宅避難」をCheck!

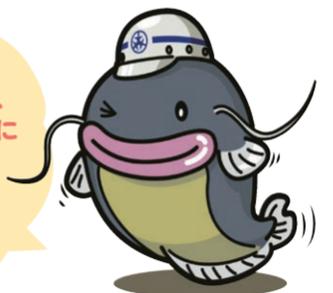
マンション特有の課題やマンションにおける在宅避難のポイントが分かります。配布場所/まちづくりセンター、総合支所地域振興課、災害対策課
※区HPQ: 24885 からご覧になれます。

「マン防」の表紙が目印です

マンションでの在宅避難について、じじよすけと一緒に動画で学んでみませんか



区HPQ: 26890



区の防災キャラクター じじよすけ

#### 災害時の情報収集方法を覚えておこう

##### ●防災ポータル

災害時の情報のほか、避難所やハザードマップなど日頃からの備えに役立つ情報も確認できます。



##### ●災害・防犯情報メール配信サービス

登録をすると、災害・防犯情報をメールで受信できます。



区HPQ: 594

##### ●エフエム世田谷(FMラジオ83.4MHz)

都水道局ホームページ



#### 災害時の連絡方法を決めておこう

##### ●災害用伝言ダイヤル(171) 災害用伝言板(web171)

大きな災害が発生した場合に、電話番号をキーにして、安否等の情報を登録・確認できます。

#### 水が配られる場所を知っておこう

##### ●災害時給水ステーション(給水拠点)

近くの災害時給水ステーションを日頃から確認しておきましょう。



### 在宅避難ができないとき

#### 縁故避難

被災していない親族や友人の家へ

#### 自主避難

ホテルなどの宿泊施設へ

#### 避難所

区立小・中学校などの指定避難所へ